

11/14

協同組合のこれからを考えるシンポジウム

TPP 参加、規制改革のなかで なにが問われているのか

TPP交渉の中で強まる、共済など協同事業への規制の動き。政府の進める成長戦略＝規制改革のなか、産業競争力会議等で浮上する協同組合の“見直し”の議論。

協同組合はどこに向かおうとしているのか、営利企業との関係をどう見るのか、勝ち負けに翻弄される“狂気の時代”に“正気の島”たりうることができるのか…

あらためて考えあうシンポジウムを開催します。

パネリスト



田代洋一さん（大妻女子大学 社会情報学部教授）

地域農業・農協の問題に詳しい立場から、TPP や規制改革の動きのなかで協同組合がどう変えられようとしているのか、何が問われているのかをお話し頂きます。



本間照光さん（青山学院大学 経済学部教授）

共済・保険の問題に詳しい立場から、この間の「共済規制」の動きにも触れながら、営利企業とは違う協同組合の存在意義とその事業のあり方、これからの課題についてお話し頂きます。

このほか、協同組合の現場などからもパネリストとして参加頂く予定です。

会場： コア・いけぶくろ（豊島区民センター）
6階文化ホール

豊島区東池袋1-20-10
Tel 03 (3984) 7601

日時： 11月14日（木）18：30～21：00

定員： 200名

資料代： 500円

主催： 農業・農協問題研究所

連絡用アドレス kyodosymp@gmail.com

